

日本聖公会 神戸教区報 神のおとずれ



2019年
1月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 小南 晃

印刷所
文明堂印刷所

神戸教区第88 (定期)教区会 開会演説

主教 オーガスチン 小林 尚明

本日は祝日にも関わらず早朝より教区の各地から本教区会の為にご参集頂き、心から感謝申し上げます。

様々な方のアドバイスで、開会聖餐式を例年の午前8時から9時に変更しました。少しは、ゆとりがあったのではないかと思います。

昨年9月に主教に就任しまして1年が経ちました。今月最後の教会の巡回を終えて、やっと27教会、2伝道所、ミッシェンズ・トゥ・シーフェアラーズと30か所を巡回することが出来ました。すべての場所に妻と共に参りました



が、温かい歓迎を受けました。やっと主教としてのスタートが切れた、という所です。

まず、はじめに今年度の人事と行事報告をして、最後に

来年に向けての宣教のビジョンと課題についてお話ししたいと思います。

「人事」

今年4月1日付、姫路顕栄教会の牧師芳我秀一司祭を徳島インマヌエル教会の牧師に任命し、富岡キリスト教会、鳴門聖パウロ教会の管理牧師を委嘱しました。同時に岡山の上原信幸司祭に姫路顕栄教会の管理牧師を委嘱しました。同日、浜田基督教会の浪花朋久司祭を牧師に任命しました。また広島復活教会の牧師補遠藤洋介執事を神戸聖ミカエル教会牧師補に任命し、神戸聖ミカエル教会の定任教役者1人という状況を改善しました。永野拓也聖職候補生に広島復活教会勤務を命じました。

9月1日付、倉敷聖クリストファー教会の管理牧師平野

一郎司祭の福山諸聖徒教会の管理牧師を解き、福山諸聖徒教会の牧師に任命しました。

姫路顕栄教会には、9か月の管理期間を過ぎて頂いておりますが、来年1月1日付、神戸昇天教会の小南晃司祭を牧師に任命しました(1月6日牧師任命式)。同日、神戸聖ペテロ教会の中原康貴司祭に昇天教会の管理牧師を委嘱しました。昇天教会には3か月の管理期間を過ぎて頂きますが、私も毎月第4週には、礼拝の司式、説教に参ります。そして4月には新しい牧師を派遣し、4月7日(日)に牧師任命式を行うよう準備しているところです。

遠藤雅己執事は、今年9月に管区共通聖職試験を受けられ、合格されましたので、来年3月21日(木・祝)司祭按手式を行うよう準備しています。また広島で実習中の永野拓也聖職候補生は、現在教区の聖職試験を受けている最中です。永野候補生もすべてを整えば、3月21日に執事按手をうけることとなります。遠藤洋介執事は、来年2月に行われる管区共通聖職試験の受

験手続を済ませた所です。これら3名の志願者のために祈りくだされば幸いです。

行事について

3月2日(土)大聖堂参事会主催のオルターギルド、サーバー研修会を行います。メイン講師に前東北教区主教加藤博道主教様をお迎えします。午前中に「神様に仕えるということ」と題してお話を伺います。この話は公開しますので、誰でも聞くことが出来ます。午後からはそれぞれの研修に入ります。なお加藤主教様には、翌3日(日)の大聖堂での聖餐式の説教もお願いしてあります。

角瀬克己司祭は、来年3月をもって定年退職されます。司祭は、姫路の教会を皮切りに、新居浜聖三一教会、神戸聖ミカエル教会、1996年から3年間、長田地区宣教担当の後、神戸聖ヨハネ教会、高松聖ヤコブ教会の牧師を歴任されました。退職後は、神戸に移られ体調を整えられて、また神戸伝道区の諸教会を手伝ってくださることを期待しています。

現在英国立教学院出向中の與賀田光嗣司祭は、同学院の要請により、来年4月からの2年延長を認めました。

春の人事は、後日報告しますが、来年のイースター(4月21日)明けに、名前はまだ伏せませんが、東京にある聖公会神学院に1人の司祭を1年間の「研究休暇」コースへ派遣いたします。これは世界各国の神学校で行われている聖職の継続教育の1つです。将来に向けての学びですので、1年間の不在をみんなで補い合っています。また継続して学びたいという教役者には機会を与えて行こうと考えています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

「行事」
西日本豪雨被災者支援室の働きについて

7月初旬甚大な被害が起りました。教区として8月の1か月、倉敷聖クリストファー・ボランティアセンターと広島聖モニカ・ボランティアセンターを立ち上げ、活動を行いました。倉敷、広島

の会、聖モニカ幼稚園、牧師、信徒の皆様にご感謝しております。約90名のボランティアが活動に参加してくださいました。神戸教区のマンパワーから考えて出来る限りのことでした。その中から、多くの課題も浮き彫りになりました。まず、他教区から人的な支援をどう組織の中に組み込めるのか、また今回、ボランティアセンターの責任者を教役者が担いましたが、信徒の方で事前に責任者が出来る方を登録しておくことも重要と気づかされました。支援室を閉じるにあたり反省会を行いました。そこで分かち合ったこと



とを将来に向けて大切にしたいと考えます。

中高生大会について

昨年は参加者が55名でしたが、今年は63名の参加を得て、周南市大津島で行われました。各教会に若者が少なくなっている状況でよくこれだけの子どもたちが集まったと感心しています。参加した子どもたちがキリスト教に興味を持ち、教会につながるように期待しています。青年交流会は8月の終わりに聖ミカエル大聖堂で庭木の剪定作業を行い、13名の参加がありました。豪雨被災者支援の時期とかさなりましたので、少し参加者が少なかつたようですが、これらの中高生大会、青年交流会のためにもお祈りを願います。

信徒のための勧話・奨励セミナーを7月と10月、2回に分けて岡山聖オーガスチン教会を会場に、京都のウイリアムス神学館館長の黒田裕司祭を講師にお招きして行うことができました。黒田館長の丁寧なお話と3名の参加者の奨励も聞くことが出来ました。

2回目の方に私も参加しましたが、黒田館長のお話の中で「牧師を巻き込むことが肝要」と言われていました。各教役者は、信徒の方に奨励を単に依頼するのではなく、共にみ言葉を学び、奨励作成のためのお手伝いも大切な牧師の仕事と考えます。神学塾の方で、反省、相談をして来年も続けたいプログラムです。

パイプオルガン委員会の働きに感謝しています。オルガンのレッスンはもとより、Angels、Voiceの発行、例年11月に行われる定期コンサートによって大聖堂も地域に開かれた教会としてよい評価を得ていると思います。引き続き委員の皆さんが協力してよい活動をお願いします。

歴史編纂委員会の報告について

報告書の80頁にあります。神戸教区の成立日について、1923年5月23日に確定したいと思えます。また歴代の主教の就任・辞任日、教区会開催回数のカウント基準、神戸教区の宣教開始年月

日を承認したいと思えます。またその報告の最後にあります「140年史の記事一部差し換え」ですが、松江基督教会の皆様にご迷惑をおかけしたことを心よりお詫びいたします。

今年10月9日、11日に長崎で行われました、第232回(定期)主教会において、今年12月初旬発売予定の新翻訳聖書「聖書協会共同訳」の礼拝での「試用」を認めることになりました。どうぞお手元において、新共同訳聖書と読み比べ、礼拝でも用いてみてください。

報告の最後に主教としての活動をお話します。昨年9月に主教に就任して、1年間で20名の方の堅信式を行うことが出来ました。また来月12月2日の日曜日に米子と広瀬の教会の巡回に参りますが、各3名、合わせて6名の堅信式が予定されています。これだけの方々に堅信式が行えること、神様の祝福と思って喜んでいきます。また巡回の時に高齢者の訪問をしたい、とお話していましたが延べ25日、45名の方々の訪問が出来まし

た。引き続きご希望のある方を訪問して行きたいと思えますので、各牧師さんの準備をお願いします。

「宣教」について

宣教について、一年間で考えてきたことをお話しします。それは「協働」ということです。

協働と言えば、信徒と牧師の協働とか、今なら沖繩教区、九州教区、神戸教区の協働ということが頭に上りますが、私が言う協働とは、神様と私たちの協働です。

この神様との協働がよく示されているのが使徒言行録です。例えば、使徒言行録8章26節から「フィリポとエチオピアの高官」という小見出しで書かれているところに注目したいと思います。

6章で教会の日々の分配のことで問題が起こり、フィリポ達7名の執事が任命されます。そのフィリポが8章でサマリヤでの宣教を行います。その後、聖霊がフィリポに語りかけます「ここをたつて南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け」と。その

言葉に従ってフィリポが行きますと、エチオピアからエルサレムに礼拝に来て、帰り道のエチオピアの女王カンダケの高官で、女王の全財産を管理している宦官の馬車が前を進んでいます。そこでまた、聖霊から指示があります。「追いかけて、あの馬車と一緒にに行け」と。フィリポがその指示に従って行きますと宦官は、イザヤ書を読んでいますが、意味が分かりません。そこでフィリポが初めて、自分の考えで「読んでいることがお分かりになりますか」と問います。一緒に馬車に乗り、この聖書の箇所から説き起こして、イエス様の福音を告げ、宦官を洗礼に導いた、というお話です。

この洗礼の成功は、フィリポが、聖霊の指示「ここをたつて南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け」という指示に従ったからです。神様から一つの指示が来て、それに従うと、また次の指示が来ます。「追いかけて、あの馬車と一緒にに行け」です。

私が考えますことは、神様は「ここをたつて南に向かい、

い、エルサレムからガザへ下る道に行け」と言われているのに、私たちは、その指示を聞かず、「エルサレムからエリコへ(ルカ10:30)下って行く道」を行ってしまい、追いはぎに襲われて傷つけられてしまっている状態ではないか、ということですが。

この神様の指示をどう聞くか、に宣教の成功がかかっているとは私は考えるのです。この神様からの指示をどう聞くか、を来年の課題としてみんなで考えてみたいと思うのです。



神戸教区では、伝統的に早晩禱、朝夕の礼拝を守ること

が奨励されてきました。決められた詩編を唱え、決められた聖書の箇所を読み、決められたお祈りを献げます。その後、「何か神様、今日行うご指示はありませんか」とお祈りして、しばらく神様に聞いてみる習慣が大切ではないか、と思います。そういう祈りの時に、ふとある信徒の方の顔が浮かんできて、「そうだ、あの方のところに訪問に行こう」と訪問してみると、

丁度、その方も「先生、来てくださったんですね。先生と話がしたいと思っていました。よく来てくださいます」と感謝され、タイミングのいい訪問をした、ということを私たちは、しばしば経験しているのではないのでしょうか。聖パウロは、「主よ、どうしたらよいでしょうか(使徒言行録22:10)」とイエス様に語りかけ、ご指示を頂いています。

私としては、朝夕のお祈り、個人で昨年も宝塚の黙想の家にも参りました。また、今年の9月25日から10月3日まで、広島のエエズス会の長東黙想の家で、エエズス会の

霊操を8日間、行ってきました。静かな祈りの時に、熟練した神父さんの指導で行って来ました。来年も同じ広島で、11月5日(火)から13日(水)まで霊操を行います。1度参加すれば、神様のご指示がよく聞けるようになる、とは言えませんが、1つの学びの機会と考えています。教役者の参加を求めますし、信徒の方の参加も大歓迎です。

「先生、勉強に行つてらっしゃい」と信徒の皆さんに教役者を送り出して頂きたいと思えます。「内面性(神との親しい一致の生活)が外的な活動力の源にならないければならぬ(注1)」とマザーテレサが言われている通りです。

教区には様々な問題がありますが、神様からのご指示・お導きを頂いて、進んでいきたいと考えています。今年の教区会からまた1年、皆様のご理解とご協力をお願いして、私の開会演説といたします。(神戸教区主教)

(注1)「マザーテレサ 来て、わたしの光になりなさい!」ブライアン・コロディエチニックM.C.編集と解説 女子パウロ会 128頁

第88 定期教区会報告

11月23日(金・祝)午前9時から神戸教区第88(定期)教区会が神戸聖ミカエル大聖堂で行なわれました。

「教区会」とは、日本聖公会各教区の総会のことです。教区会に出席するのは、教区に在籍する全ての教役者と神戸教区各教会の信徒の代表者で、議長は教区主教が務めます。これらの人々によって昨年の決算と翌年の予算案、教区の財産について、また常置委員の選挙が決議されます。

今回の神戸教区教区会では、2017年の決算と2019年の予算案をはじめ、13の議案が全て可決されました。また常置委員選挙が行なわれ、次の方々が常置委員に当選しました。

二〇一九年常置委員

【聖職】司祭 芳我秀一

司祭 小南 晃

司祭 瀬山会治

【信徒】宮永好章

大東康人

覚前康子

教区会の最後には、2019年3月で定年退職を迎える角瀬克己司祭に坪井智司祭から感謝の言葉が述べられました。その後、角瀬司祭からご挨拶がありました。



2019年の神戸教区の歩みの上に神様のお恵みをお祈りください。

第88定期教区会書記
司祭 浪花朋久

堅信50年顕彰者

第88定期教区会以下の方々が堅信50年の顕彰を授与されました。代表として、教区会に出席しておられた広島復活教会の橋口満氏が小林主教より記念品を贈呈されました。

【神戸聖ミカエル教会】

ヤコブの母マリア

柴 美江子

ミシエリン 八代 英子

マリヤ 溝田 詔子

ルデヤ 金子 和子

ペテロ 岡本 吉史

リベカ 芥川 貞子

【神戸昇天教会】

カタリナ 北野すが子

テレジア 北岡美名子

セシリア 永畑 素子

【神戸聖ヨハネ教会】

ルツ 飯田 典子

【明石聖マリア・

マグダレン教会】

サラ 牛尾真知子

マーガレット 渡辺 静子

【姫路顕栄教会】

クララ 土井 禮子

【米子聖ニコラス教会】

マリア 神庭 言子

【鳥取聖ルカ教会】

マリア・マグダレーナ 山村美美子

【高松聖ヤコブ教会】

フランセス 山下 善子

ユニケ 横山 準子

【徳島インマヌエル教会】

ヨシユア 阿部 嘉友

ダビデ 佐藤 興昌

モニカ 佐藤 典江

マルタ 立川スミ子

【徳島聖テモテ教会】

エリザベツ 武市 幸子

以上27名



【呉信愛教会】

ヤコブ 長壽 恵

【広島復活教会】

アブラハム 橋口 満

ヨシユア 木村 勇

【松江基督教会】

アグネス 渡部 睦子

エリザベート 川島 富代



大聖堂 パイプオルガン コンサート

コンサートの目的と成果

「コンサートの目的」というものを一言で言うならば「来場者が音楽の力を受ける」ことであろう。音楽の力

による効力は様々であるが、その場限りのものである一方で、将来に繋がる効力もある。つまりコンサート会場で受けた音楽の力のために、会場を出た後の状態が、入る前よりパワーアップしている場合がある。大袈裟に言えば、見える景色が違っていているような状態であり、そのような場合は「音楽に元気をもらった」「音楽にすっかり癒された」「違う世界に行けた」等といったことになる。

ただこれはあくまでも「結果」である。人様を元気にさせようと「上から目線」の気持ちで演奏したり企画した

りすれば、音楽の力など到底発揮されない。企画者はこのような力が発揮される可能性を探り、演奏者は純粋に、音楽の世界をこの世に表そうと、己を捨てて努力を惜しまないことにより、このコンサートの目的が果たされることになる。

もうひとつ、継続性に繋がる「体験」という目的がある。例えば「一度パイプオルガンを聴いてみたかった」「二度教会に入ってみたかった」等のきっかけとして、コンサートは大きな役割を持つ。その一回の体験が、そ



をリードされている、辻彩乃さんのオルガンと内海由美子さんのメゾソプラノの響きはまさに光のようで、寒くなり始めた聖堂が温かく包まれた。

の方にとっては次に繋がる一回である可能性もある。

このような観点から、コンサートのお知らせ、コンサート内容の次に重要となる。上記のチャンスを出るだけ多くの方に提供することにより、効果が増える。そしてこの告知は実際の来場者数アップに加え、会場の認知度アップにも繋がる。実際に来場されなくても、このようなチャンスが存在を、広く知っていた

だくことは有効である。11月10日(土)14時から神戸聖ミカエル教会にて「光に照らされて」というタイトル

このコンサートの成果はアンケートの集計で明らかになった。大きく分けると下記の二点である。一つ目は、オルガンや歌の響きに癒されたという感動のお声。これはオルガン伴奏に合わせて来場者全員で歌った体験も含まれている。二つ目に、教会やコンサートに足を運ぶきっかけが今までは無かったが、このような世界があると気付けた

ったとの声であった。辻さん、内海さん、裏方の皆様方、そして全てのご来場者に、心からの感謝をお伝えしたい。

日本聖公会大阪教区の音楽

広報部からのお願い

いつも神のおとずれをお読みくださり、ありがとうございます。広報部では、2019年の神のおとずれに「教会のお葬式Q&A」という特集を掲載できるよう企画しております。つきましては、読者の皆様から、キリスト教のお葬式についての質問を募集致します。(例：キリスト教のお葬式は、信徒以外でも執り行ってもらえるのか？／お葬式で好きな聖歌は選べないのか？など簡潔に。)応募し

◎募集方法

メールでご質問の方

kaminotozure@live.jpまで
(題名に「お葬式の質問」とご記入ください。)

郵送でご質問の方
〒697-0022

島根県浜田市浅井町260

浜田キリスト教会

浪花朋久まで



神戸教区オルガニスト
伊藤純子

鳩だより 《敬称略》

祝 洗 礼

11月11日(日) アグネス 大東 美織 神戸聖ミカエル教会

11月12日(月) マヨリハ アネ 曾我 澄子 高知聖パウロ教会

11月25日(日) パウロ 國弘 神戸聖ベテロ教会 海

11月11日(日) マグダラのマリア 河村 こはる 徳島聖テモテ教会

祝 堅 信

12月2日(日) ヤヨコ ハコ 米子 岡田 幸治 聖ニコラス教会

12月2日(日) テレベサ アカク 吉村 遥香 吉村 理恵 広瀬基督教教会

初 陪 餐

11月12日(月) マヨリハ アネ 曾我 澄子 高知聖パウロ教会

ご 逝 去

11月5日(月) セシリア 舛見 真理 神戸聖ミカエル教会

11月13日(火) アグネス 森 寄 聖子 神戸聖ミカエル教会

11月23日(金) サムソン 佐藤 彰 神戸聖ヨハネ教会

教 籍 移 動

11月5日(月) ドルカス 平野 真理 倉敷聖クリストファー教会より 福山諸聖徒教会へ

2月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2019年2月7日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 司祭 瀬山 公一
説教 司祭 角瀬 克己

Table with 3 columns: Date, Role, Name. Rows include 3日 司祭 ハリー ウッドワード, 5日 司祭 バークレイ バックストン, etc.

管区事務所編集 11月初旬発行 聖公会手帳 2019. Features: 日記と年鑑を兼ねた便利性! 教会暦・日課表を完全収録! 教会・伝道所と関連施設が、直ぐわかる. Price: 大型判 2,200円 / 通常判 1,200円 (税込).

11月23日(金) ルカ 宮田 裕三 聖職候補生認可につき、神戸聖ヨハネ教会より神戸教区へ

阪神大震災追悼礼拝／ 社会部主催 神戸教区防災講習会のお知らせ

- ◎追悼記念聖餐式 日時 2019年1月17日(木) 午前10時30分 司式 小林尚明主教
- ◎防災講習会 日時 2019年1月17日(木) 午後1時~3時 テーマ 救命救急法 講師 山根 嘉樹 NPO法人神戸ライフセービングクラブ理事長 日本赤十字社指導員 会場 神戸聖ヨハネ教会(上記のいずれも) (☎654-0044 神戸市須磨区稲葉町4-2-17)

① 阪神淡路大震災記念礼拝に出席された教区教役者(神戸伝道区は除く)には交通費が支給されます。 ② プログラムの都合上、参加を希望される方は、2018年12月末までに教区事務所に申し込んでください。

主教座聖堂参事会主催 「信徒奉仕者研修」のお知らせ

- 目的 サーバー、オルターの研修
- 日時 2019年3月2日(土) 10:00~14:00
- 会場 神戸聖ミカエル大聖堂
- 講師 加藤博道主教 (前東北教区主教) ☆サーバー研修指導 林 和広 司祭 ☆オルター研修指導 八代 英子 姉

参加費 1,000円(昼食代) 講演だけ希望の方は、無料です。

※ 詳細は後日各教会へ届きます、ご案内をご覧ください。